

autoCULT

Stoewer Arkona Coupe (ドイツ, 1940)

過去のブランド

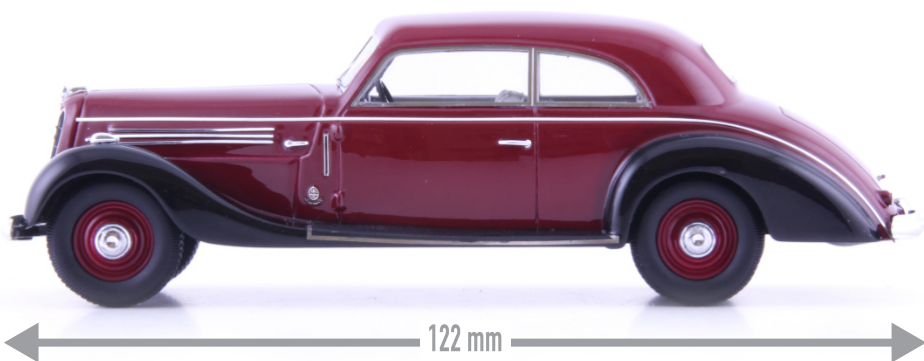
Scale 1/43

#02027

available

05/2022

limited edition 333 Stk.



超一流で、高速、それなのにほとんど忘れられた

1858年、24歳のベルンハルト・ストゥヴァーは、シュチェチンに精密機械修理工場を設立した。この革新的な創業者は、1898年には早くも自動車の生産に乗り出した。事業は見事に成功し、まだ歴史の浅いドイツの自動車産業において、その名声を確固たるものにした。1920年代から1930年代にかけて、ストゥヴァーはその名声を携え、自動車市場に進出していった。

1936年、前任のホイラー社長に代わってカール・トレフツが社長に就任した。彼の指揮の下、セディナとアルコナの2タイプの新型乗用車が誕生し、1937年にベルリンで開催された見本市で一般に公開された。セディナが出力60hp、2.4リッター4気筒エンジンを搭載していたのに対し、アルコナは出力80hp、3.6リッター6気筒を搭載していた。エンジン以外は多くの部品を共通化し、生産コストの大幅な削減を実現した。アルコナは、新しく建設された高速道路に適した中級車というコン

セプトを実現したもので、快適で、最高時速140kmのハイペース走行が可能であった。ボディのデザインは時代の要請に応え、主にベルリンのビューネ社が担当したが、すべての注文に応えるため、ドレスデンのグレーザー社にも依頼した。

その2種類のモデルのうち、セディナはより人気のあるモデルであることが証明された。最終的に、セディナの生産台数は924台、一方アルコナの生産台数はたったの201台かもしくは210台であった、これはおそらく長い年月の間に2種類の異なった生産台数が伝わってしまったのだろう。推測するに、シュチェチンの経営陣は、アルコナに対してもっと良い反応を期待していたことだろう。

。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de